第 6 号　2020/1/10

「KOMABA DAY」は月に一度実施している日で、世界で起こっている様々な問題に子どもたちが触れる機会を作っています。また、同日は募金箱も設置します。集まった募金は災害などの緊急支援や KOMABA の開校以来、その活動を応援し続けているトータルペインター・ミヤザキケンスケさんのプロジェクト OVET THE WALL に役立てられます。なお楽しみながらの活動を目指しているため、「KOMABA DAY」では講師は私服で授業をし、生徒は授業中の飲食を可としています。

#Go With Empty Eskies

オーストラリア史上最悪の森林火災
-様々な支援の在り方-【2020 年 1 月 10 日】

オーストラリア全土で猛威を振るう森林火災を、世界中が恐怖と共に見守っている。昨年 9 月に始まったこの火災で 2000 軒近くの家屋が破壊され、少なくとも 25 人が死亡。数億匹の動物が犠牲になったとみられている。こうした状況を受け、オーストラリア国内外の政治家や著名人が、さまざまな方法で援助を募っている。

オーストラリア史上最悪の森林火災

SNS ユーザーはハッシュタグ「#GoWithEmptyEskies（空っぽのクーラーボックスを持って行こう）」を使い、ホテルや食料、飲料、燃料など旅行に必要なものを現地で購入することで、地域経済の再建を助けようとしている。
オーストラリアで消火活動に当たっている消防隊員の大半は、対価をもらっていないボランティアだ。何千人もの地元住民が、命と生活を賭して危機に立ち向かおうとしている。あるボランティア消防員は BBC の取材で、「情熱と同胞愛があるからやっている」と話した。

多くの野生動物の住処が奪われている

山火事は自然災害の一種で、人間の過失がなくても起こりうる災害です。自然災害はいつどこで起こるか分かりません。最低限の知識を身に着け、いざ災害が起きた時に”正しい行動”を取れるようにしておきましょう。他人事ではないのです。
更に今回の災害を受けて考えさせられるのが支援についてです。東日本大震災のときも議論を呼びましたが、今回の森林火災でも「物資」による支援が目立つそうです。しかし現地のリサ・ナヴィル警察・救急担当相は、「これ以上の食料や服は必要ない。資金をください（中略）現地の企業やコミュニティーを支援してください」と呼びかけています。このことから読み取れるように、「物資」の支援は運送や適切な場所への配分が重労働で、被災地の方々にそれをこなすだけの余裕はありません。もし支援をするのであれば、金銭的な支援、もしくは火災が収まった現地に空のクーラーボックスを持って訪れましょう。(永渕)